

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日

上場会社名 株式会社ヨロズ 上場取引所 東
 コード番号 7294 URL http://www.yorozu-corp.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)志藤 健
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長執行役員財務部長 (氏名)佐草 彰 (TEL) 045 (543) 6802
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	78,204	△5.1	264	△89.8	△432	—	△832	—
2019年3月期第2四半期	82,433	△3.8	2,589	△17.7	2,790	△28.2	1,673	△35.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △1,910百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △1,136百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△35.04	—
2019年3月期第2四半期	70.40	69.20

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	161,399	89,136	45.6
2019年3月期	168,097	92,310	45.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 73,533百万円 2019年3月期 75,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	23.0	—	23.0	46.0
2020年3月期	—	12.0	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	13.0	25.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	163,000	△3.6	2,500	△52.7	1,950	△62.7	800	98.6	33.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	25,055,636株	2019年3月期	25,055,636株
2020年3月期2Q	1,285,960株	2019年3月期	1,285,878株
2020年3月期2Q	23,769,692株	2019年3月期2Q	23,769,759株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料は、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・2019年11月20日(水)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済につきましては、米国では各国との貿易摩擦という逆風下でも雇用環境は底堅さを維持しているものの、来年の米大統領選に向けた米政権の動向など先行きの不透明感は続いております。中国では、長期化している対米貿易摩擦の影響などにより依然として減速傾向が続いております。また新興国では、一部の通貨安などの影響により市場の減速感が強まっております。

一方、日本経済は、堅調な雇用環境を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦の影響で外需が減少し、内需でも消費税増税に対する心理的影響など不透明感があることから、今後の経済動向にさらに留意する必要があります。

当社グループが関連する自動車産業におきましては、米国では、ピックアップトラック、SUVなど「ライトトラック」は好調な反面、セダンや小型車の販売は低迷が続いております。中国においては、米中貿易摩擦の影響などにより生産販売台数ともに前年割れが続いております。東南アジア等そのほかの地域においてはインドなど一部新興国での生産販売が低迷しております。なお国内は、全体としては生産販売とも概ね好調に推移したものの、カーメーカーによっては台数にばらつきのある状況となっております。

このような状況下におきまして、当社グループの売上高は前年同期比5.1%減の78,204百万円となりました。利益面では、米国では生産が減少する中、テネシー拠点での大幅な収益改善はあったものの、日本、中国、タイでの生産の減少などにより、営業利益は前年同期比89.8%減の264百万円となりました。経常利益は、前年同期での為替差益計上から、当第2四半期では為替差損計上となったことなどにより、前年同期に比べ3,222百万円減の432百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券評価損の計上もあり、前年同期に比べ2,506百万円減の832百万円の損失となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の為替換算レートは、110.06円/ドル（前第2四半期累計期間108.67円/ドル）であります。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

① 日本

主要得意先の生産台数の減少や海外からのロイヤルティ収入の減少に加え、金型・設備売上の減少などにより、売上高は前年同期比13.0%減の24,935百万円となりました。営業利益は売上減少による影響に加え、償却費などの増加により前年同期比84.0%減の392百万円となりました。

② 米州

米州における売上高は、米国でのセダンや小型車の販売低迷による主要得意先の減産影響はあったものの、メキシコ、ブラジルでは生産台数が増加したことや一部通貨の円安影響などにより、前年同期比0.6%増の34,216百万円となりました。

損益面では、米国テネシー拠点での大幅な収益改善やアラバマ拠点の立上げ費用が一巡したことなどにより、前年同期に比べ134百万円改善したものの黒字化には至らず926百万円の営業損失となりました。

③ アジア

中国、タイでの主要得意先の大幅な生産販売台数減少などにより、売上高は前年同期比14.3%減の25,250百万円、営業利益は前年同期比56.3%減の593百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ2,894百万円減少の64,528百万円となりました。これは、「受取手形及び売掛金」が2,688百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ3,804百万円減少の96,871百万円となりました。これは、「有形固定資産」の「建物及び構築物」が840百万円、「機械装置及び運搬具」が2,717百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ6,698百万円減少の161,399百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ49百万円減少の40,224百万円となりました。これは、「1年内返済予定の長期借入金」が1,684百万円、「賞与引当金」269百万円増加したものの、「短期借入金」が1,253百万円、「未払法人税等」が867百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ3,475百万円減少の32,038百万円となりました。これは、「長期借入金」が2,984百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ3,524百万円減少の72,262百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ3,173百万円減少の89,136百万円となりました。これは、「株主資本合計」のうち「利益剰余金」が1,379百万円、「その他の包括利益累計額合計」のうち「為替換算調整勘定」が528百万円、「非支配株主持分」が1,054百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は第2四半期連結累計期間での厳しい状況を踏まえ、現在全社をあげて、あらゆる分野において聖域を定めない緊急収益改善活動を展開中であります。これらの改善効果も踏まえ、連結業績予想につきましては、2019年8月7日の「2020年3月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,970	23,276
受取手形及び売掛金	19,842	17,154
電子記録債権	2,122	2,086
製品	5,340	6,242
原材料及び貯蔵品	934	970
部分品	2,804	2,349
仕掛品	6,878	6,699
その他	4,659	5,962
貸倒引当金	△130	△213
流動資産合計	67,422	64,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,505	18,665
機械装置及び運搬具（純額）	53,426	50,708
その他（純額）	12,975	13,369
有形固定資産合計	85,907	82,743
無形固定資産	418	338
投資その他の資産	14,349	13,788
固定資産合計	100,675	96,871
資産合計	168,097	161,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,117	14,094
電子記録債務	3,401	3,165
短期借入金	10,694	9,440
1年内返済予定の長期借入金	1,218	2,903
未払法人税等	1,278	411
賞与引当金	1,347	1,617
役員賞与引当金	81	81
その他	8,133	8,510
流動負債合計	40,273	40,224
固定負債		
長期借入金	31,333	28,349
退職給付に係る負債	1,276	1,164
その他	2,903	2,525
固定負債合計	35,513	32,038
負債合計	75,787	72,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,200	6,200
資本剰余金	10,329	10,329
利益剰余金	67,195	65,815
自己株式	△1,836	△1,836
株主資本合計	81,888	80,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,022	2,680
為替換算調整勘定	△8,879	△9,408
退職給付に係る調整累計額	△378	△247
その他の包括利益累計額合計	△6,235	△6,975
新株予約権	649	649
非支配株主持分	16,008	14,953
純資産合計	92,310	89,136
負債純資産合計	168,097	161,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	82,433	78,204
売上原価	72,848	70,649
売上総利益	9,585	7,555
販売費及び一般管理費	6,995	7,291
営業利益	2,589	264
営業外収益		
受取利息	140	127
受取配当金	136	136
為替差益	203	—
その他	79	71
営業外収益合計	560	335
営業外費用		
支払利息	357	394
為替差損	—	602
その他	2	35
営業外費用合計	359	1,031
経常利益又は経常損失(△)	2,790	△432
特別利益		
固定資産売却益	27	10
受取和解金	210	—
特別利益合計	238	10
特別損失		
固定資産廃棄損	115	3
減損損失	104	0
投資有価証券評価損	—	256
その他	—	0
特別損失合計	220	261
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	2,807	△682
法人税等	849	149
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,958	△832
非支配株主に帰属する四半期純利益	284	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,673	△832

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,958	△832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130	△341
為替換算調整勘定	△3,256	△889
退職給付に係る調整額	30	153
その他の包括利益合計	△3,095	△1,078
四半期包括利益	△1,136	△1,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△800	△1,572
非支配株主に係る四半期包括利益	△336	△338

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	19,692	33,836	28,903	82,433
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8,961	183	546	9,691
計	28,654	34,020	29,450	92,124
セグメント利益又はセグメント損失(△)	2,457	△1,061	1,358	2,754

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,754
セグメント間取引調整額	△164
四半期連結損益計算書の営業利益	2,589

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	19,073	33,997	25,134	78,204
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,862	218	116	6,197
計	24,935	34,216	25,250	84,402
セグメント利益又はセグメント損失(△)	392	△926	593	59

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	59
セグメント間取引調整額	204
四半期連結損益計算書の営業利益	264